

□■ タイの EdTech ■□

～タイ教育革命と日本投資家が埋めるべきギャップ～

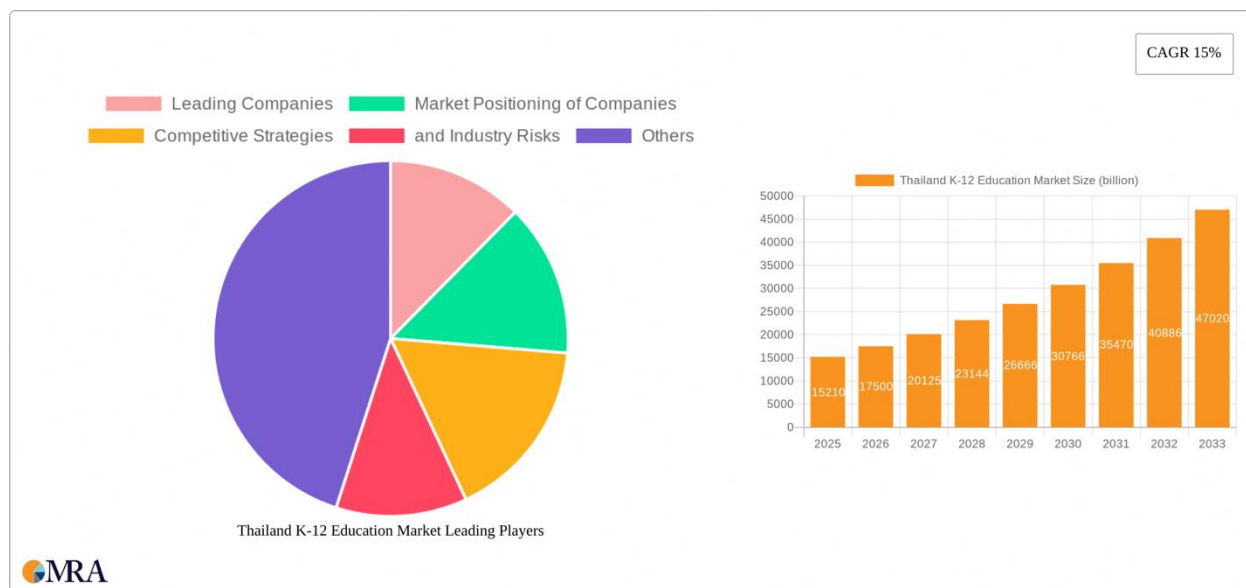


こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、グラフです。

今回は、「タイの EdTech：タイ教育革命と日本投資家が埋めるべきギャップ」というテーマで、急成長するタイの教育テクノロジー（EdTech）市場の可能性についてご紹介したいと思います。

■ タイの EdTech 市場：急成長するデジタルのフロンティア

タイの K-12（幼稚園から高校まで）教育市場は、2025 年時点で約 152.1 億米ドルと評価される巨大かつダイナミックなセクターです。この数字は、参入可能な市場全体のベースラインを示しています。



出典：<https://www.marketreportanalytics.com/reports/thailand-k-12-education-market-3638>

特筆すべきは、この市場が2025年から2033年にかけて年平均成長率（CAGR）15%という驚異的なペースで成長すると予測されている点です。この高い成長率は、市場が急速な変革と近代化の過程にあることを示しており、投資家にとって非常に魅力的です。2025年から2029年だけでも、市場は153.8億米ドル拡大すると見込まれています。

この成長は教育分野に限定されたものではありません。タイのデジタルサービス部門全体が活況を呈しており、2023年から2028年にかけて年平均22.0-23.0%の収益成長が見込まれます。これは、EdTechを含むあらゆるデジタルソリューションが受け入れられやすい土壌が整っていることを示唆しています。

出典1：<https://www.prnewswire.com/news-releases/k-12-education-market-in-thailand-to-grow-by-usd-15-38-billion-2025-2029-driven-by-rising-primary-education-awareness-report-highlights-ai-driven-transformation---technavio-302359505.html>

出典2：<https://www.krungsri.com/th/research/industry/industry-outlook/services/digital-software/io/io-digital-software-2023-2025>

### ■ 主要な成長ドライバー

この急成長を支えているのは、以下の複合的な要因です。

- 政府の強力な後押し：タイ政府が推進する国家戦略「タイランド 4.0」は、国をハイテク・高付加価値経済へと転換させることを目指す中核的な政策です。この政策は教育分野におけるデジタルイノベーションを明確に支援しており、規制や投資環境の面で追い風となっています。政府はまた、様々なプログラムを通じてデジタルリテラシーやスキルの向上を積極的に推進しています。
- デジタルインフラの普及： 高いインターネット普及率とスマートフォン保有率は、デジタル学習プラットフォームへのアクセスを容易にし、EdTech ソリューション導入の障壁を大幅に引き下げています。
- 中間層の拡大と教育熱の高まり： 可処分所得の増加は、より質の高い教育を求める親の支出増に直結しています。特に、質の高いカリキュラムや国際的な教育を提供すると認識されている私立教育セクターへの需要が高まっています。
- パンデミックによる学習形態の変化： COVID-19 のパンデミックは、オンラインおよびハイブリッド学習モデルの導入を強制する巨大な触媒として機能し、教育者と学習者の双方のテクノロジーに対する認識を恒久的に変化させました。

この 15% という高い成長率は、単なる市場の量的拡大を示すものではありません。これは公教育システムの機能不全の裏返しでもあります。私立セクターが市場価値の約 60% を占める中で、この成長は保護者が公的システムに代わる選択肢を積極的に求めていることの証左です。つまり、EdTech プロバイダーにとって、これは需要に根ざした、持続可能で長期的な市場機会を意味します。

出典 3：<https://startupinthailand.com/thailands-education-technology-market-investment-and-growth-trends/>

### ■ タイ教育システムの構造的課題

#### 1. 深刻な教育格差

タイの教育には、都市部と地方部との間に深刻な格差が存在します。バンコクのような都市中心部と地方では、資金、教員の質、教育資源へのアクセスにおいて大きな隔たりがあり、これが標準化された高品質なデジタルコンテンツへの巨大な需要を生み出し

ています。事実、国内で最も所得の低い 20% の家庭の子供が、高等教育に進学できる確率は、わずか 5% に過ぎません。この不平等は経済的にも大きな損失をもたらしており、世界銀行の試算によれば、タイは年間 800 億バーツ（約 22 億米ドル）以上の経済成長機会を逸しています。

出典：<https://www.teachforthailand.org/story/thailand-education-inequality>

## 2. 学習成果の低迷と質の課題

タイは国家予算の約 20% という高い比率を教育に投じているにもかかわらず、PISA（OECD 生徒の学習到達度調査）の読解力、数学、科学のスコアは OECD 平均を一貫して下回り、シンガポールやベトナムといった近隣諸国にも後れを取っています。これは、資源配分の著しい非効率性を示唆しています。

問題の核心は、資金不足ではなく、効果的な教育提供メカニズムの欠如にあります。EdTech は、標準化された品質の教育コンテンツを大規模に、かつデータに基づいて提供することに長けており、従来の教育手法よりも高い投資収益率（ROI）を提供する可能性があります。さらに、特に科学、数学、英語といった主要科目において有資格教員が不足しており、1 万校以上の小規模校では教員が不足している状態です。この状況は、地域の教員数に左右されずに専門的な指導を大規模に提供できるプラットフォームにとって、大きなビジネスチャンスとなります。また、教員はしばしば管理業務に追われ、質の高い指導に時間を割けないという問題も抱えています。

## 3. 労働市場の需要とのミスマッチ

従来の教育システムは、現代経済が求めるスキルを持つ人材を十分に育成できていません。特に、デジタルスキル、データ分析能力、そして英語能力を持つ労働者が決定的に不足しています。

このスキルギャップが、「リスキリング（学び直し）」と「アップスキリング（能力向上）」に対する巨大な需要を煽っています。現在約 200 億バーツ（約 5.4 億米ドル）規模の法人向け研修市場は、2027 年までに 600 億バーツ（約 1.6 億米ドル）以上に急拡大すると予測されています。これは、EdTech にとって最も緊急性が高く、商業的に成立しやすい機会の一つです。

特に需要が高いスキル分野には、デジタルマーケティング、コーディング、UX/UI、サイバーセキュリティ、クラウドコンピューティングなどが含まれます。

「タイランド 4.0」政策が求めるデジタル人材の育成と、現役労働者の大規模なスキル再教育の必要性が重なり合うことで、K-12 市場（未来の労働者を育成）と法人研修市場（現在の労働者を強化）の両方をターゲットとする、相乗効果の高い投資機会が生まれています。

出典：<https://www.prachachat.net/breaking-news/news-882474>

### ■ 投資機会の特定：日本の投資家が参入すべき 3 つの重点分野

タイ教育市場が抱える課題は、日本の投資家にとって具体的なビジネスチャンス进行意味します。ここでは、最も成功の可能性が高い 3 つの重点分野を特定します。

#### 1. AI を活用した個別最適化学習プラットフォーム

- 市場ニーズ：学生間の学力差や学習ペースの多様性に対応するため、画一的な教育は限界に達しています。個々の学生のニーズに合わせたソリューションへの強い需要が存在します。
- 投資機会：AI と機械学習を活用し、学生の学習状況をリアルタイムで分析、最適化された教材、演習、フィードバックを提供するプラットフォームの開発・導入が求められています。これは、大規模でありながら一人ひとりに合わせた「パーソナルチューター」体験を提供することで、教育格差という根深い問題に直接アプローチするものです。アダプティブラーニング（適応学習）はタイでも世界でも主要なトレンドであり、市場の力強い成長が予測されています。
- ターゲット市場：K-12 の生徒（B2C サブスクリプションモデル）、および学校や学習塾（B2B ライセンスモデル）。

出典：<https://www.daolinvestment.co.th/articles/insights/edtech-new-era>

出典：<https://www.lucintel.com/adaptive-learning-market-in-thailand.aspx>

#### 2. 生涯学習と法人向け研修（リスキリング・アップスキリング）

- 市場ニーズ： タイ経済のデジタルトランスフォーメーションは、労働力の大規模なスキル転換を必要としており、これは最も緊急かつ商業的に有望な市場です。
- 投資機会： 需要の高いデジタル分野で認定資格を取得できる B2B および B2C プラットフォームが有望です。
  - IT・デジタルスキル： コーディング、サイバーセキュリティ、データサイエンスなど。タイの IT 研修市場だけでも、2024 年に 5 億 245 万米ドルの価値がありました。
  - 英語能力： タイの低い英語能力は経済発展の大きな足かせとなっています。学習者とネイティブスピーカーを繋ぐオンラインプラットフォームは高いポテンシャルを秘めています。
  - ソフトスキル： リーダーシップ、コミュニケーション、クリティカルシンキングなども需要が高く、この市場は 2033 年までに 5 億 5,500 万米ドルに達すると予測されています（CAGR 11.42%）。
- ターゲット市場： 従業員のスキルアップを目指す企業（B2B）およびキャリアアップを目指す社会人（B2C）。この法人研修市場は、販売サイクルが短く、投資対効果が明確であるため、K-12 市場よりも迅速な収益化が期待できる「足がかりとなる市場」と言えます。

出典：<https://www.imarcgroup.com/thailand-it-training-market>

出典：<https://www.imarcgroup.com/thailand-soft-skills-training-market>

### 3. ゲーミフィケーションと没入型学習（AR/VR）

- 市場ニーズ： 従来の学習方法は学生の興味を引きつけるのに苦労しており、学習意欲や定着率の低下につながっています。
- 投資機会：
  - ゲーミフィケーション： ポイント、ランキング、ストーリーテリングといったゲーム要素を取り入れ、学習をより魅力的にする教育アプリやプラットフォーム。特に K-12 や語学学習の分野で効果が期待されます。



- AR/VR： まだ初期段階ですが、AR（拡張現実）/VR（仮想現実）は、医療手技、機械操作、エンジニアリングといった職業・技術訓練に革命をもたらす可能性を秘めています。高価な物理的機材なしで、安全かつ反復可能な実践的シミュレーションを提供できるため、「タイランド 4.0」が目指す製造業やサービス業の高度化に不可欠な技術です。
- ターゲット市場： K-12（ゲーム化された学習アプリ）、専門学校、および専門的な技術訓練を必要とする企業。

出典：<https://www.prnewswire.com/news-releases/k-12-education-market-in-thailand-to-grow-by-usd-15-38-billion-2025-2029-driven-by-rising-primary-education-awareness-report-highlights-ai-driven-transformation---technavio-302359505.html>

出典：

<https://www.principal.th/en/worldprogressandeducationtechnologytrenddevelopment>



VR（仮想現実）での学習

### ■最後に

この記事でご紹介したように、タイの EdTech 市場は、ダイナミックな成長の可能性と、解決すべき構造的な課題が共存する、非常に魅力的なフロンティアです。

日本の投資家やテクノロジー企業の皆様にとって、この状況はまたとない事業機会を意味します。日本が世界に誇る高品質な教育コンテンツ、洗練された学習プラットフォーム、そして AI や AR/VR といった先進技術は、タイが直面する教育格差の是正、学習成果の向上、そして産業界が求める人材育成といった喫緊の課題を解決するための強力なソリューションとなり得ます。

タイの社会課題の解決に貢献すると同時に、急成長する市場で確固たる地位を築くことは、持続可能なビジネスの成功にも繋がります。



### □■企業インタビュー：C.A.S.H Autoparts Co., Ltd.■□



副常務取締役／営業・マーケティングマネージャー  
オンニチャー・シーワタナヌクルキット氏

#### ■会社の沿革と経営理念

C.A.S.H Autoparts Co., Ltd.は1991年（仏暦2534年）に設立され、34年の歴史を有しています。設立当初は約30名のチームでスタートし、継続的な成長を遂げた結果、現在では698名の従業員を擁する企業へと成長しています。

「当社の主な事業は、自動車内装部品の製造です。フレーム、車体構造部品、その他の組立部品などを金属プレス加工（Metal Pressed Process）によって生産しています。

生産工程には以下のようなプロセスが含まれます。

- プレス成形工程（Stamping Process）
- 溶接および機械加工工程（Spot & Machine Process）
- 溶接および研磨工程（Welded & Grinding Process）

当社が保有する機械は、60トンから400トンの加圧能力を有し、小型部品から中型部品まで幅広く生産することが可能です。これにより、多様な部品の生産に対応できお客様のニーズに的確にお応えできます。主要顧客はHondaをはじめとする大手日本自動車メーカー各社です。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.133

---

当社は、一次サプライヤー（First Tier Supplier）および二次サプライヤー（Second Tier Supplier）として、日本の自動車メーカーへ直接部品を供給しています。

当社の工場は、ISO 9001、IATF 16949、ISO 14001 といった国際規格の認証を取得しています。これらの認証は、当社の品質管理、マネジメントシステム、および信頼性の高さを証明するものであり、日本の自動車産業における重要なサプライヤーとして高い信頼を得ています。

企業理念は、“Quality of Products is our first priority with customers’ satisfaction on price and punctuality of delivery”（＝「製品の品質を最優先とし、価格および納期でお客様に満足していただくこと」）です。

設立以来 34 年間、この理念を一貫して大切にし、最高品質の製品を提供するとともに、顧客からの信頼を築いてきました。



C.A.S.H Autoparts の顧客例



社内の製造工程（Metal Process）画像

### ■タイにおける自動車部品製造業界の課題と機会

新型コロナウイルス感染拡大前と比較すると、コロナ禍以降、各自動車メーカーが生産能力を大幅に削減したことにより、当社は継続的に影響を受けています。さらに近年では、タイ市場で急速に拡大している電気自動車（EV）の普及によっても影響を受けています。

当社が主に製造している部品は、内燃機関車（ICE）向けが中心です。そのため、消費者の電気自動車（EV）への移行が進むにつれて、当社の売上も減少傾向にあります。

一方で、近年では中国系自動車メーカーが価格戦略、販売促進活動、そして多様な新モデルの投入を通じて、タイ市場への参入を急速に拡大しています。その結果、タイに生産拠点を持つ日本の自動車メーカーは生産量の削減を余儀なくされ、中にはコスト削減のため一部の工場を閉鎖する動きも見られます。これらの動きは当社の事業に直接的な影響を及ぼしています。

- コロナ前：売上約 12 億パーツ
- コロナ後：売上約 8 億パーツに減少
- 2024 年：売上約 9 億パーツ

これは、外部および内部要因による圧力を示しています。具体的には、原材料コストの上昇や、ベトナムおよび中国のサプライヤーによる低価格競争などが要因となっています。

この状況への対応として、まず既存顧客の維持に注力しています。現在、約 40～50 社と取引があります。同時に、生産コストの削減および変化する顧客の行動やニーズへの対応にも取り組んでいます。

主要顧客は依然として日本企業ですが、契約期間が以前ほど長期ではなくなり、さらに新たな条件やプロジェクトでの契約が増えています。そのため、当社はコスト面および販売面の両方で、継続的に戦略を見直し、調整していく必要があります。

### ■新型コロナウイルス危機と米国の関税引き上げによる影響

正直に申し上げますと、コロナ禍では当社は直接的な影響を受けました。顧客からの追加注文が途絶えたため、売上は直ちに減少し、また突然の受注停止が何度も発生しました。その結果、生産能力を縮小せざるを得ませんでした。

以前は土曜日でもフル稼働していましたが、一部の生産ラインを停止し、従業員には労働時間と賃金の一時的な削減に協力いただきました。経営陣自身も福利厚生を削減し、経費負担の軽減に努めました。

アメリカの関税については、それほど大きな影響はありませんでした。当社は主に国内顧客向けの製造・販売を行っているためです。しかし、実際の課題は、生産コストの上昇および他社との競争激化にあります。そのため、既存顧客の維持に全力を尽くす必要があります。

### ■提供サービスおよび製品

当社は、内燃機関（ICE）を搭載した自動車および二輪車用部品の製造を事業としており、主要顧客はタイ国内に生産拠点を持つ日本の自動車メーカーです。

業務の流れとしては、まずお客様から部品の設計図をお送りいただき、見積もりを作成した後、実際の生産工程に移ります。当社の役割は、お客様が定めた仕様および品質基準を厳守しながら、設計図通りに部品を製造することです。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.133

現在、当社は板金成形（Sheet Metal Forming）の分野で高い専門性を有しており、特にプレス成形（Stamping Process）を中心とした生産を行っています。これにより、多様なサイズ、形状、構造の複雑さを持つ部品の製造に対応することが可能です。



会社で製造している部品の例（イメージ）

### ■設備・機械・人材および取得認証

当社は、国際的な生産基準に基づいて事業を運営しており、お客様の信頼を得るとともに、製造のあらゆる工程において製品品質を保証しています。そのため、以下の国際認証を取得しています。

- ISO 9001：品質マネジメントシステム
- IATF 16949：自動車産業向け品質規格
- ISO 14001：環境マネジメントシステム



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.133

これらの認証は、当社が高品質で安全性と環境に配慮した製品の製造に取り組んでいることを示しています。当社からお届けするすべての製品が最高水準の品質と信頼性を備えていることを、お客様にご安心いただけるよう努めています。



ISO9001 および IATF16949 の認証書



Wire cut 2 machines

Grinding 4 machines

Drilling 2 machines

Press 4 machines

Press 4 machines

Lathe 4 machines

Drilling 2 machines

CNC 2 machines

### 社内の各種機械



顧客による製造工程および製品の品質検査の様子

### **【事業の展望】**

#### **■海外企業との取引経験**

主要顧客は、日本企業、または日本を親会社に持つタイ企業が中心です。そのため、業務の進め方は体系的で標準化され、規律性の高いものとなっています。これにより明確で高品質な業務遂行が可能となっています。

しかし、時代の変化とともに市場環境やお客様のニーズも変化しており、当社としてもそれに合わせて経営管理、生産コストの最適化、お客様の新たな条件への柔軟な対応など、さまざまな面での適応が求められています。これらに順応することで、取引関係の維持および継続的な競争力の確保を目指しています。





顧客から受けた品質関連の賞

### ■有益な技術や機械の導入動向

現在、自動車部品産業において最も注目されている課題は、コストと販売価格です。中国やベトナムのメーカーは、当社よりも40～50%も低い価格で製品を提供できるため、競争力の維持が大きな課題となっています。

このような状況の中、当社が重視している方向性は、生産工程への新技術の導入です。これにより、生産コストの削減を図るとともに、製品の効率性と品質の向上を実現し、お客様の多様なニーズにより的確に対応していくことを目指しています。

### ■今後の事業拡大計画

現在、自動車産業は多方面で変化に直面しており、特に電気自動車（EV）への移行が大きな潮流となっています。そのため、当社は主力事業である内燃機関（ICE）を搭載した自動車および二輪車向け部品分野において、市場シェアの維持に注力しています。

当社は、内燃機関車および二輪車には依然として市場で需要があると確信しています。その理由として、当社の主要顧客である日本の自動車メーカーは、現時点ではタイ国内における電気自動車（EV）の生産や開発に関して明確な方針を打ち出していないためです。内燃機関（ICE）市場は短期から中期にかけて重要な位置を占めると考えられます。



### □■タイの雨乞いや豊作祈願に関する伝統行事■□

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、ニンです。

タイは現在、雨季の時期を迎えています。同時に、農作物の収穫を待つ時期でもあります。最近では激しい雨が頻繁に降っており、タイの農家は農作物の収穫への影響を心配しています。一方で、雨が降らない時には、農業用水の不足を懸念します。このような背景から、タイでは昔から雨乞いや豊作祈願の伝統行事が営まれてきました。

今回は、雨乞いの伝統行事や豊作祈願、作物の収穫後など、農業にまつわる有名な伝統行事についてお伝えします。

#### ■ブン・バンファイ (ประเพณีบุญบังไฟ)



画像の出典：カプック（Kapook）というニュースやトラベルに関する情報を提供している  
タイウェブメディアより

「ブン・バンファイ (ประเพณีบุญบังไฟ)」は、農作物の植え付け前に神々へ雨乞いと豊作を祈願するために行われる、タイ・イサーン地方（東北部）の伝統行事です。地域によって 5 月から 6 月にかけて開催されます。「バンファイ」は東北部の方言で、「火薬を詰めて空へ打ち上げる竹筒」を意味します。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.133

ブン・バンファイのハイライトは、1kg から 1,200kg もの火薬が入ったバンファイを空高く打ち上げる瞬間です。バンファイが高く上がるほど、雨に恵まれ五穀豊穡になると言い伝えられています。バンファイの打ち上げ以外にも、イサーン地方の民俗舞踊の鑑賞や、地元の屋台を楽しむこともできます。

最大かつ最も有名なブン・バンファイは、イサーン地方（東北部）ヤソートーン県で開催されるものです。毎年 5 月頃に行われますので、この時期にヤソートーン県を訪れる機会がある方は、ぜひ足を運んでみてください。

### ■バイシー・スークワン・カーオ (ประเพณีบายศรีสู่ขวัญข้าว)



画像の出典：MRG Online というタイのニュース・メディアのウェブサイトより

タイには、稲作と深く結びついた多くの伝統行事があります。その中でも、「バイシー・スークワン・カーオ (ประเพณีบายศรีสู่ขวัญข้าว)」は、稲の収穫が終わった後に行われる重要な伝統行事の一つです。この行事は、タイの農家が敬う「プラ・マー・ポーソップ พระแม่โพสพ)」という稲の女神に、感謝と謝罪の気持ちを捧げるために行われます。



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.133

稲は、タイの農家にとって単なる農作物ではなく、生命そのものであり、農業の豊かさの象徴でもあります。タイの農家は昔から、稲のひと粒ひと粒に魂が宿ると信じ、収穫後もその魂を敬い、次の年の豊作を願います。

バイシー・スークワン・カーオでは、花やバナナの葉で作られた「パーン・バイシー (พานบายศรี)」という供え物を置き、僧侶や長老が祝福の言葉を唱えます。参加者たちは白い紐を互いの手首に結び合い（通常は年上の方が年下の人に結びます）、幸福と繁栄を祝います。また、炊きたての新米や地元料理を分かち合い、地域の絆を深める場ともなっています。

バイシー・スークワン・カーオは、タイの稲作地域で広く行われている行事で、特に稲作が盛んなイサーン地方（東北部）で多く見られます。祝福の祈りや舞踊の形式は地域によって異なり、それぞれ独自の特色があります。

開催時期は地域によって異なりますが、11月から2月頃に行われます。

### ■ バッファロー・レース (ประเพณีวิ่งควาย)



画像の出典：MRG Online というタイのニュース・メディアのウェブサイトより

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.133

---

バッファロー・レース (ประเพณีวิ่งควาย) は、タイの中部および東部で行われる伝統行事で、100 年以上の歴史があります。元々は農作業の合間に水牛の運動を兼ねた農家のスポーツとして始まり、次第に祭典へと発展していきました。

タイで最も有名なバッファロー・レースは、東部チョンブリー県で開催されるもので、毎年 10 月頃に行われます。同県のバッファロー・レースでは、水牛のスピード競争や美しさを競うコンテストが開催されます。また、地元料理や民芸品の屋台も多数出店し、大変賑やかなイベントとなっています。

現在、チョンブリー県のバッファロー・レースは、地域の行事にとどまらず、国内外の観光客を惹きつけるタイ文化イベントとして成長しています。

タイの文化イベントに興味のある方は、ぜひチョンブリー県のバッファロー・レースに足を運んでみてください。

### ■最後に

前述の行事以外にも、タイには雨乞いに関する伝統行事がいくつか存在しますが、時代に合せて形式をアレンジして行われている行事もあります。例えば、「ヘー・ナーンメオ (ประเพณีแห่นางแมว)」という雨乞い行事は、かつては神輿に生きた猫を入れて地域内を練り歩き、参加者が猫に水をかけるという内容でしたが、動物虐待を避けるため、現在では生きた猫の代わりに猫の像や人形を使って行われています。このように現代に合わせて少しずつ形を変えながら、昔からのタイ文化は受け継がれています。

ソンクランやロイクラトンなど有名なイベントだけでなく、このような生活に根ざした伝統行事に参加するために、タイへの旅行を計画してみてもはいかがでしょうか。

※掲載情報はご自身の判断と責任におきましてご活用ください。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください。

---

担当：柴田 隼介 Shunsuke Shibata

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,

Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Mobile: +66(0)63-228-4585

Mail : shimane-bizsup@aapth.com

---



➤ タイ経済指標

項目	単位	2022	2023	2024	2025
GDP 成長率	前年比 (%)	2.7	1.9	2.6	3.0 (6 月)
人口*	千人	69,922	70,104	70,269	70,374 (8 月)
労働者の数*	千人	40,143	40,674	40,356	40,448 (9 月)
失業率**	%	1.32	0.98	1.00	0.80 (9 月)
最低賃金*      バンコク	バーツ／日	353	353	363	400
チョンブリー		354	354	361	400
アユタヤー		343	343	350	357
ラヨーン		354	354	361	400
賃金：全国製造業の平均	バーツ	14,305	14,416	14,394	14,394 (24 年)
インフレ率**	前年比 (%)	6.08	1.23	0.06	-0.76 (10 月)
中央銀行政策金利*	%	1.25	2.50	2.25	1.50 (8 月)
普通貯金率**	%	0.28	0.40	0.39	0.20 (9 月)
ローン金利 (MLR) **	%	5.50	6.83	7.14	7.08 (9 月)
SET 指数*	1975 年：100	1,668.66	1,415.85	1,400.21	1,309.50 (10 月)
バーツ／100 円**	バーツ	26.78	24.82	23.33	22.29 (10 月)
バーツ／米ドル**	バーツ	35.06	34.80	35.29	33.06 (10 月)
円／米ドル**	円	131.38	144.07	153.72	151.28 (10 月)
車販売台数 (1 月からの累計)	台数	856,057	702,921	559,255	436,634 (9 月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,554	2,383	2,953	1,504 (6 月)
BOI 認可プロジェクト金額	10 億バーツ	618.62	750.12	973.14	904.06 (6 月)

\*期末、\*\*平均